Operation Guide 2816

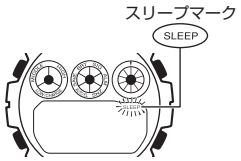
CASIO

パワーセービング機能について

パワーセービング機能とは、暗いところに放置すると自動的に液晶表示を消してスリープ状態にし、節電する機能です。
本機は工場出荷時に「パワーセービング機能」をONに設定してあります。
※時計が袖などで隠れている場合でも、表示が消えることがあります。

●スリープ状態になるには

暗いところで本機を約30～35分間放置します。
➡液晶表示が消え、スリープマークが点滅します。
アラーム・時報の報音は行ないます。



●スリープ状態を解除するには

本機を明るいところに置くか、いずれかのボタンを押すか、オートライト「●文字板を発光させる」のように傾けたりします。
※本機を明るいところに出した場合は、表示が点灯するまでに最大5秒かかる場合があります。

●パワーセービング機能のON／OFF

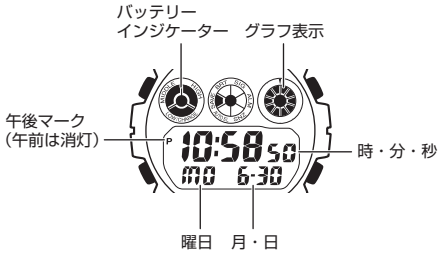
パワーセービング機能を働かせなくするには「■時刻・カレンダーのセット」をご覧になり、パワーセービング機能をOFFにしてください。

机の中などに長期間しまっておくときは、パワーセービング機能をONにしておけば、節電効果があります。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

時刻モード

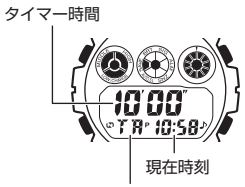


<曜日の見方>
SU：日　MO：月　TU：火　WE：水　TH：木　FR：金　SA：土

※グラフ表示は現在時刻の秒に連動して点灯／消灯を繰り返します。
※バッテリーインジケーターの見方については「●バッテリーインジケーターの見方」をご覧ください。

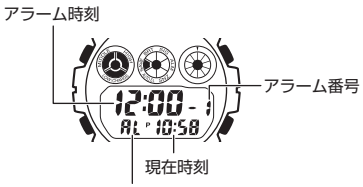
Ⓒ

タイマーモード



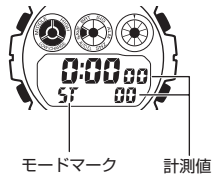
Ⓒ

アラームモード



Ⓒ

ストップウオッチモード



Ⓒ

デュアルタイムモード

Ⓒ

電源について

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。
光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。
安定してご使用いただくために、なるべく光が当たるようにしてお使いください。

二次電池が消耗して時計機能が停止すると(レベル4)、メモリーされているデータや設定は消去されます。

●リカバーマークが点滅している場合

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、リカバーマークが点滅して、一時的に以下の操作ができなくなります。
- EL バックライトの点灯
- アラーム・時報などの報音

この場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。

●バッテリーインジケーターの見方

レベル1		すべての機能が使用可能
レベル2		すべての機能が使用可能
レベル3		液晶表示不可、EL点灯不可、アラーム・時報などの報音不可
レベル4		時計発振不可(時計機能停止)

※直射日光下などの強い光で充電した場合、バッテリーインジケーターが一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。
※レベル4になっても再度充電を行なうことで使用できます。このときは、レベル2またはレベル1になるまで十分に光を当ててから、時刻・カレンダーを合わせてください。
※レベル4から充電したときは、レベル3になると表示が点灯しますが時刻・カレンダー合わせはできません。

●充電必要サイン

レベル3の状態は、電池残量が極端に少なくなっています。このときは、本機を光に当てて、十分に充電を行なってください。

●充電時のご注意

以下のような高温下での充電はお避けください。
- 炎天下に駐車中の車のダッシュボード
- 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
- 直射日光が長く当たって、高温になる所

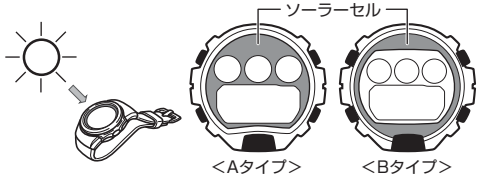
なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなることがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

⚠ 充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

●充電のしかた

本機のソーラーセル部を光源に向けます。
※ソーラーセルの一部が隠れていると充電効率が下がりますので、ご注意ください。
※機種によりソーラーセルの形状が異なります。

例）時計の置き方



※イラストは樹脂バンドの場合です。

●充電の目安

本機は一度フル充電すると、充電しなくても基本動作に加え、下記の条件で使用した場合に約11ヶ月動き続けます。

1日あたりの使用量
- ライト：1.5秒間
- 電子音：10秒間
- タイマー計測：1回
- 表示点灯：18時間

なお、こまめに充電を行なえば、安定してご使用いただけます。

〈1日動くのに必要な充電時間〉
※左記の条件で使用した場合。

環境（照度）	充電時間
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約5分
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約24分
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	約48分
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約8時間

* 基本動作とは、時計内部の時刻演算処理のことです。

- 各レベルに回復するための充電時間

環境（照度）	充電時間 レベル4 ➡ レベル3 ➡ レベル2 ➡ レベル1		
晴れた日の屋外など（50,000ルクス）	約2時間	約24時間	約7時間
晴れた日の窓際など（10,000ルクス）	約7時間	約120時間	約33時間
曇り日の窓際など（5,000ルクス）	約10時間	約243時間	約67時間
蛍光灯下の室内など（500ルクス）	約118時間	― ― ―	― ― ―

※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部には EL パネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると暗いときに文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して発光させる ～手動発光～

どのモードのときでも、

Ⓛ ボタンを押します

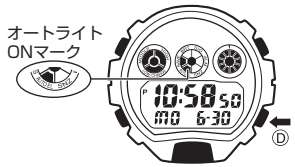
➡ Ⓛ ボタンを押すと約 1.5 秒間文字板が発光します。
※オートライト OFF のときも Ⓛ ボタンを押すと発光します。

本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■ 時計を傾けて発光させる ～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても暗いときに時計を傾けるだけで文字板が発光する便利なフルオートライト機能です。
※明るいときは、自動発光しません。
暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約 1.5 秒間発光します。

準備：時刻モードのとき Ⓓ ボタンを約２秒間押し続けて、オートライトON（オートライトONマーク点灯）にします。



※オートライトONのとき、Ⓓ ボタンを約２秒間押し続けるとオートライトOFF（オートライトONマーク消灯）に戻ります。

●文字板を発光させる

※オートライト機能を使用するときは、時計を**「手首の外側」**にくるようにつけてください。
※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を± 15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。

〈EL 発光についてのご注意〉
- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉
- オートライトを頻繁に使用すると電池の持続時間が短くなりますのでご注意ください。
- 時計が服の袖に隠れるようにつけると、明るいときでもオートライトが点灯することがあります。
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約 1.5 秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトを OFF にしてご使用ください。

- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

タイマーの使い方

時刻モードから Ⓒ ボタンを1回押して、タイマーモードに切り替えます。

タイマー時間は分単位で 60 分まで（リセット時間は 1 分から 5 分まで）セットすることができ、1 秒単位で減算計測を行ないます。
また、本機ではリセット時間から計測を簡単にやり直すこともできます。

■ タイマーの種類

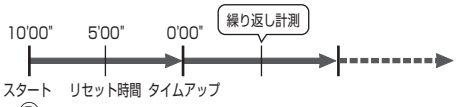
本機のタイマーは2種類あり、以下のように計測を行ないます。本機はヨットやサーフィンのレースに使用すると大変便利です。

●オートリピートタイマー

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。

※繰り返し計測は合計 8 回行なうと、自動的に計測がストップします。

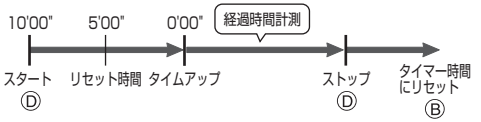
例）タイマー時間＝ 10 分、リセット時間＝ 5 分



●リピートタイマー（経過時間自動計測）

タイムアップすると自動的に経過時間計測を行ないます。

例）タイマー時間＝ 10 分、リセット時間＝ 5 分



★予告音について
リセット時間の 10 秒前から 1 秒ごとに電子音が鳴ります。リセット時間を経過すると、1 分ごとに電子音が鳴ります。タイムアップの 30 秒前に電子音が鳴ります。
※予告音は ON ／ OFF の切り替えができます。

★タイムアップ音について
タイムアップの 10 秒前から 1 秒ごとに電子音が鳴ります。

■ タイマーのセット

1. セット状態にする

タイマーモードのとき、

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡タイマー時間の「分」が点滅します。

※ 計測ストップ状態からは、セット状態に切り替わりません。このようなときは、Ⓑ ボタンを押してタイマー時間にリセットしてから、Ⓐ ボタンを約 1 秒間押すとセット状態になります。

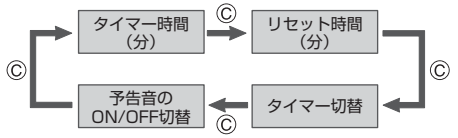
タイマー時間（分）

2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

リセット時間（分）



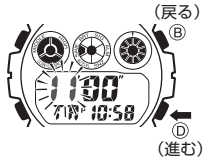
3. 点滅箇所のセット

★「タイマー時間」「リセット時間」セットのときは…

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りができます。



※ タイマー時間は 1 分（1'00"）～ 60 分（60'00"）までセットできます。

※ リセット時間は 1 分（1'00"）～ 5 分（5'00"）までセットできます。リセット時間はタイマー時間を超えてセットすることはできません。

★「タイマー切替」のときは…

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとにオートリピートタイマーとリピートタイマーが切り替わります。

※ ON にすると、オートリピートタイマーになり、オートリピートマーク "↻" が点灯します。

オートリピートマーク

★「予告音の ON ／ OFF 切替」のときは…

Ⓓ ボタンを押します

➡ⒹボタンをおすごとにON／OFFが切り替わります。

※ ONにすると、予告音マーク "♪" が点灯します。

予告音マーク

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

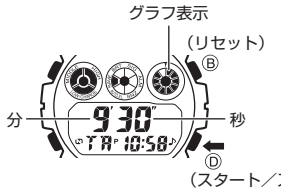
タイマーモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※ 計測は 1 秒単位で行ないます。

※ 計測値に連動してグラフ表示が点灯／消灯します。



- ●計測ストップ後 Ⓑ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（タイマー時間にリセット）。
- ●ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。
- ●計測中に Ⓑ ボタンを押すと、リセット時間を表示して計測がストップします。その後、Ⓓ ボタンを押すと、リセット時間から計測を再開します。
- ●リピートタイマーで、経過時間計測中に Ⓓ ボタンを押すと、計測がストップします。ストップ後Ⓑボタンを押すと、タイマー時間表示に戻ります。

アラーム・時報の使い方

時刻モードから Ⓒ ボタンを2回押して、アラームモードに切り替えます。

■ アラーム・時報について

●通常アラーム（アラーム 1 ～アラーム 5）

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

●スヌーズアラーム（アラーム 1 のみ）

スヌーズ機能を ON にすると、設定した時刻に 10 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回（約 30 分間）報音を繰り返します。
なお、スヌーズアラームのときは、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

●ブライトアラーム

暗いところに約 30 ～ 35 分以上置いたあと、明るいところで約 15 ～ 20 分経過すると、10 秒間の電子音が鳴ります。

●時報

毎正時（00 分のとき）に "ピッピッ" と電子音を鳴らすことができます。

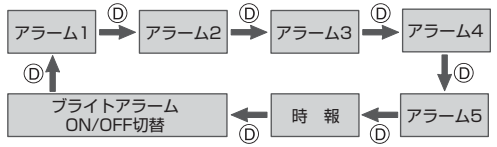
■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押します

➡「時」が点滅します。
※ アラーム ON マークが点灯し、自動的にアラーム ON になります。

3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

4. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。
※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。
※ 基本時刻を 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

手順 3. と 4. の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま 2 ～ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

●アラーム 1 がスヌーズアラームのときにセット操作を行ないますと、スヌーズ機能は OFF になります。

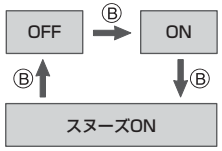
■ アラーム・時報のON／OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームまたは時報表示を選びます。

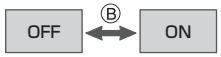
Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すごとに、以下のようにアラーム・時報の ON ／ OFF が切り替わります。
※ それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。

●アラーム 1



●アラーム 2 ～ 5、時報、ブライトアラーム



スヌーズONマーク

<アラーム1>

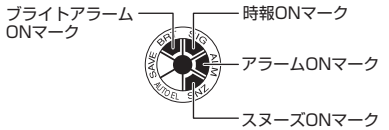
時報ONマーク

<時報>

ブライトアラームONマーク

<ブライトアラーム>

★マークの見方



■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。
※スヌーズアラーム機能中のときは、約5分後に再び鳴り出します（スヌーズ中はスヌーズON マークが点滅します）。
※スヌーズアラーム機能中のときに以下の操作を行ないますと、スヌーズアラーム機能が中断されます。
●アラームモードでアラーム 1 をOFFにしたり、通常のアラームに切り替えたとき。
●アラームモードでアラーム 1 をセット状態にしたとき。
●時刻モードで時刻セット状態にしたとき。

■ モニターアラーム

アラームモードでⒹ ボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

ストップウオッチの使い方

時刻モードからⒸボタンを3回押して、ストップウオッチモードに切り替えます。

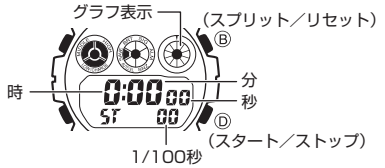
ストップウオッチは 1/100 秒単位で 99 時間 59 分 59 秒 99（100 時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※ 計測値に連動してグラフ表示が点灯／消灯します。



●計測中に Ⓑ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（"SPL" 表示）。
※ スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
●計測終了後 Ⓑ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。

●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓑ スプリット計測 → Ⓑ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット
（スプリット計測 → スプリットタイム表示）

●1・2 着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓑ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓑ 2着タイム表示 → Ⓑ リセット

デュアルタイムの合わせ方

時刻モードから Ⓒ ボタンを 4 回押して、デュアルタイムモードにします。

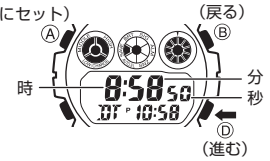
デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう 1 つの時刻を 30 分単位でセットできる機能です。

※デュアルタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※基本時刻を 24 時間制にしているときは、デュアルタイムも自動的に 24 時間制で表示されます。

■ デュアルタイムの合わせ方

デュアルタイムモードのとき、

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、デュアルタイムを合わせます



➡Ⓓ ボタンを押すごとに30分ずつ数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに 30 分ずつ戻ります。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※デュアルタイムは 30 分単位でセットできます。
※Ⓐ ボタンを押すと、基本時刻と同じ時刻でセットされます。

時刻・カレンダーの合わせ方　以下の操作は時刻モードで行ないます。

二次電池が完全に空になった後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

■時刻・カレンダーのセット

1. セット状態にする

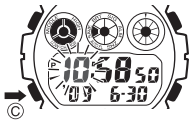
時刻モードのとき、

Ⓐボタンを約1秒間押します

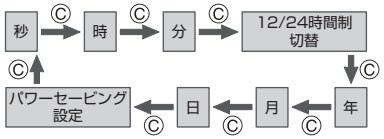
➡「秒」が点滅します。

2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



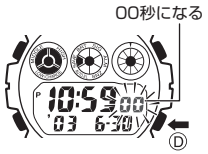
➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



3. 点滅箇所のセット

★「秒」セットのときは…

時報に合わせてⒹ ボタンを押します

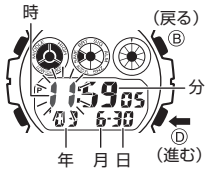


➡「00秒」からスタートします。

※ 秒が 00 ～29 のときは切り捨てられ、30 ～ 59 のときは 1 分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス 117 番」が便利です）。

★「時」「分」「年」「月」「日」セットのときは…

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。

※「年」は2000 ～ 2039年の範囲内でセットできます。

※ 正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※ カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

★「12/24 時間制切替」のときは…

Ⓓ ボタンを押します

➡12時間制表示 “12H” と 24 時間制表示 “24H” が切り替わります。

★「パワーセービング設定」のときは…

Ⓓ ボタンを押します

➡パワーセービング機能の ON／OFF が切り替わります。

※ パワーセービング機能をON にすると、パワーセービングマークが点灯します。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま 2 ～ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。